

令和4年度第1回鳴門市水道事業審議会 会議概要

開催日時：令和4年11月21日（月）午前10時30分から午前11時40分まで

開催場所：鳴門市水道会館3階第1会議室

出席者：審議会委員12名

【開発委員、近藤委員、齋藤委員、佐藤委員、塩路委員、芝野委員、中岸委員、
原委員、平野委員、益岡委員、森委員、矢野委員】

鳴門市5名

【池脇水道企画課長、寺前水道事業課長、長町浄水場長、事務局2名】

開催次第

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 令和3年度決算状況について
 - (2) 鳴門市水道事業ビジョンの進捗状況について
 - (3) 鳴門市の水道事業について～水道管路の更新状況～
 - (4) その他
- 3 閉会

会議資料

開催次第

座席表

水道事業審議会委員名簿

鳴門市附属機関設置条例

鳴門市水道事業審議会運営要綱

【資料1】H28～R7収支見通し

【資料2】鳴門市水道事業ビジョン 主な項目の取組状況

【資料3】鳴門市の水道事業について

会議概要

- 1 議事（１）について、資料１を用いて事務局より内容の説明を行い、質疑を行った。
質疑の概要は別紙のとおり。
- 2 議事（２）について、資料２を用いて事務局より内容の説明を行い、質疑を行った。
質疑の概要は別紙のとおり。
- 3 議事（３）について、資料３を用いて事務局より内容の説明を行い、質疑を行った。
質疑の概要は別紙のとおり。
- 4 議事（４）について、今回の会議概要については、市公式ウェブサイトに掲載することを事務局より説明した。

【別紙：質疑概要】

・議事（１）令和３年度決算状況について

（委員）

現在の企業債残高と今後の見通しについてどう捉えているか。

（事務局）

経営指標上、現在の企業債残高は他事業体と比べて特に本市が高くなく、経営に支障がある状況にはない。今後の建設改良費の増大に伴い企業債残高の増加が見込まれることから、残高の推移に注視しつつ、適切な水道料金への反映も含めて健全な経営に努めたい。

（委員）

水道料金収入の見通しでは、人口減少に伴い収入も減少する見込みとなっているが、一般家庭用と事業所用の割合はどう見込んでいるか。

（事務局）

水道料金収入の見通しは、水道事業ビジョンで示した年間の有収水量をベースに試算している。毎年約１％の減少を見込んでおり、現況では営業用など事業所向けの有収水量が伸びており、見込みよりも減少幅が抑えられている傾向にある。

（委員）

令和７年度までの収支見通しになっているが、令和８年度以降の共同浄水場整備事業などの大規模事業が完了後の見通しは示せるか。

（事務局）

令和７年度中には向こう１０年間の水道事業ビジョンと経営戦略の見直しを行う予定である。建設改良費や減価償却費などの増により、純利益の確保が難しい状況であれば、水道料金の改定も視野に入れた経営戦略の見直しを行いたい。

・議事（２）鳴門市水道事業ビジョンの進捗状況について

（委員）

応急給水・復旧体制の整備について、訓練を行う際は、地域の水道事業者にも参加してもらい、災害時に備え普段から地域に根付いた取り組みをしているということをもっと地域の方に知っていただくのがよいのではないかと。

(事務局)

毎年、各地域を順番に職員が出向き、防災訓練に参加している。災害時においても、安全安心な水道水を供給できるよう、地域の水道事業者の皆様とともに取り組みたい。

(委員)

鳴門市内に老朽化が著しいと思われる水管橋がある。令和3年10月に和歌山で発生した水管橋が崩落したこともあり、本市の取り組み状況はどうなっているか。

(事務局)

今年度、和歌山の事例を受けて、市内にある水管橋の状況を把握するための調査を行っており、大きな事故に繋がらないよう取り組んでいく。

(委員)

コロナ禍によりイベントが減った影響で、これまで取り組んできた各種行事への参加が行えていないようであるが、今後情勢が戻れば、新たな行事等への参加を通して広報活動を行ってはどうか。

(事務局)

和歌山の水管橋崩落事案を受けて、日常生活における水道の重要性が全国的に再認識されたこともあり、機会を捉えて積極的に広報活動に取り組んでいく。

・議事(3) 鳴門市の水道事業について～水道管路の更新状況～

(委員)

鳴門市は面積が広く、水道管も含めた水道施設を維持管理するために、多大な費用と労力がかかっていることが分かった。これからも蛇口をひねれば当然のように使える水道を維持するために、長期的な見通しをもって着実に計画を推進していただき、市民のひとりとして応援したい。

(事務局)

安全で安心な水道水をお届けするためには、水道管路等の更新に終わりではなく、今後も人口減少が続くことが見込まれる厳しい経営が予想されるが、可能なかぎり過度な市民負担にならないよう経営努力を続けてまいりたい。

(会長)

今日の委員からの意見を踏まえて、今後も水道事業ビジョンに沿って着実に事業を進めてほしい。